



World Prayer and Share Letter

とりなし手の皆様へ

世界のための祈り

ダイアン・グリコ師



グッド・ニュース!

イスラエルの国営テレビ局の一つが、「イスラエルにいる15,000人のメシアニック・ムーブメント（イエスを救い主として受け入れているユダヤ人）はこの地でインパクトを与えつつあります!」（1）イスラエルの総人口は703万人で、その内ユダヤ人の血を引く人口は564万人います。この総数は、アメリカに住むユダヤ人人口を上回っています。この人口増加は、イスラエルへ移民するユダヤ人が増えたというわけではなく（わずかながら関連はありますが）イスラエルにおけるユダヤ人人口が増えたことをあらわしています。エルサレム・ポスト（2）によると、新しくイスラエルへ移民した人はほんの「数千人」だそうです。

同じ信仰を持つ兄弟姉妹として、メシアニック・ムーブメントは私たちの祈りのサポートを必要としています。彼らが人口数においてイスラエルで増えていくな、彼らが語るイエス（イエス様）の救いの恵みの証しが国中で広がっていくでしょう・・・救い主の再臨が差し迫っているからこそ。

トルコでの殉教

トルコ国スミルナにあるプロテスタント教会から全世界の教会への手紙

（スペインへの宣教師ビンス&メリー・カザリンからのレポート）vmcazarin@hotmail.com
他の情報源：www.persecution.com/contactVOM/index.cfm（「News」をクリックしてください）

2007年4月18日水曜日、「タリカット・グループ」（イスラムの熱心な信者）の若いメンバー10人が、3時間かけてトルコのマラティヤ（アンテオケから北東へ300マイル）で3人*の牧師、宣教師を拷問にかけて殺したことで「アラール」への愛を表しました。（*5人というレポートもある）

殉教したのは、3人の子を持つドイツ人宣教師ティルマン・ゲスケ（46）、イスラム教から改宗したトルコ人2人、2人の子を持つ牧師ネカティ・アイディン（35）、ウグル・ユクセルです。

加害者の5人は一週間前に、ネカティ牧師が主催した、招待を受けた人だけが参加できる伝道集会に「求道者」として出席していました。この5人と他の5人（いずれも20歳以下）は、イスラム教の邪魔をしていると彼らが思っている異教徒（つまりこの場合、クリスチャンのこと）に憎しみをぶつけるために、ネカティ牧師がリードする水曜日の朝の聖書研究会と祈り会に来ました。

加害者は3人の手足を椅子に縛りつけ、拷問をし、手足を切断しただけでなく、携帯電話のビデオで約3時間撮影し続けました。（詳細を載せるにはあまりにもひどい内容です。）

2001年から、トルコの国家安全委員会、福音的なクリスチャンを国家安全を脅かす者（アルカイダや他のテロリストと同列）とみなすことを考慮し始めました。トルコで宣教師への憎悪はエスカレートしつつあります。爆弾や、物理的攻撃、言葉や落書きなどによる暴力、メディア・プロパガンダは同じことを言っています・・・トルコではクリスチャンなど歓迎しない、と。

殉教したティルマン・ゲスケの妻スカーナ・ゲスケは、テレビのインタビューで赦しを表明しました。彼女は復讐することを望まず、レポーター達に言いました。「神様、彼らをお赦しください。彼らは自分達が何をしているか分からないのです。」あるコラムニストは書きました。「彼女は、千年もの間、千人の宣教師達ができなかったことを一言で言い表しました。」

トルコのマラティヤにいる信者は、彼らが迫害に対して強く立ち、今なお暗闇にいる人々に福音を伝え続けられるよう祈りを要請しています。「私たちは、彼らが迫害に耐え、彼らの救い主に対して誠実であり続けられるよう、イエス様が力をお与えになったことを知っています。」（訴訟は保留されており、具体的な証拠や検視報告はまだ一般公開されていません。）

イエス様は言われました。「からだを殺しても、たましいを殺せない人たちなどを恐れてはなりません。そんなものより、たましいもからだも、ともにゲヘナで滅ぼすことのできる方を恐れなさい。」（マタイ10:28）悲しむ者と共に悲しんでいる時でも、私たちは、私たちの敵を赦してくださるよう、又、彼らが罪を悔い改め、地獄で苦しむのではなく永遠のいのちをもつことができるように祈っていきましょう。

もし、裁きが先延ばしにされているなら、それは神様が悪事を行なう人々に悔い改める機会をお与えになっているからです。敵対する者がイエス様を苦しめたように、たとえ彼らが主の聖徒たちを苦しめていても、神様が義なるお方であり、悪者への裁きを成し遂げられないわけではありません。しかし、永遠の目的を思い、主は罪人にあわれみを注ぐことを大切にします。（黙示録2:8-11参照）

#1シーラ・ソーコラム、2007年3月マオズレポートより